

防災だより NO. 2

～ 平成29年度の主な取組 ～

編集 防災委員1年・2年

発行 平成30年3月1日

保小中高合同避難訓練(5/29)

今年度の保小中高合同避難訓練では、防災委員が保育園児の避難の補助を行いました。

避難所集合後の司会や講評は生徒会執行部が務め、リーダー的な役割を意識することができました。訓練中はみんな頑張って協力してできていましたが、中には話しながら避難をしている人もいたので、次回我真剣な雰囲気を作っていきたいと思います。



高校生津波サミット被災地訪問(7/31～8/2)



岩手県宮古市田老町、陸前高田市を訪問し、大船渡高校との交流学习を行いました。被災地の視察をしたり、語り部さんのお話を聞いたりし、津波の恐ろしさを実感することができました。

大船渡高校との交流学习では、災害に強い街づくりについて積極的に協議することができました。被災した高校生の生の声が聞けてとても勉強になりました。

先進地等視察研修(8/21～8/22)

北淡震災記念公園及び人と防災未来センターへの視察研修を実施しました。震災についての理解を深めるとともに、語り部さんからの講話や写真・映像、被災者の思いを綴った文章等に触れることで、防災・震災への取組の意義や重要性について再認識することができました。また、活断層などについて具体的なお話が聞いたことも良かったです。



防災委員会



月に1～2回程度、防災委員が集まり大方高校のより良い防災活動について話し合いました。

京都大学の杉山高志さんに参加していただき、避難カルテの見直しや、防災アプリの活用についてのアドバイスを頂きながら取り組むことができました。実際に防災アプリ「逃げトレ」を使った、実践的な避難訓練も行いました。また、防災委員の活動を防災だよりとして発行したり、全校生徒に防災標語を作成してもらい掲示したりすることで、学校全体で防災に取り組むことができました。防災委員の活動を通して、防災のことについて色々なことが学べ、意識を高めることができました。来年度は、防災委員だけでなく生徒全員でもっと活動できるように取り組みたいです。来年度もよろしくお祈いします！